

2026 ISE COLLECTION

せ かい はっしん
世界に発信！

い せ し たん し けい ぶん がく さい
伊勢市短詩型文学祭

た ん か は い く ぼ し ゅ う
伊勢をPRする短歌・俳句を募集します！

豊かな自然に囲まれた私たちのまち・伊勢は、
歴史や文化など魅力がたくさんあふれています。
あなたの感じた伊勢の好きなところ、楽しいことなどを、あ
なただけの作品にして世界にアピールしよう！



伊勢市の
観光PRキャラクター

はなてりうちゃん

入賞作品展示

と き 令和8年11月28日(土)～12月24日(木)
と ころ 伊勢市歴史博物館(いせ市民活動センター北館2階)
※ほかの施設での展示も予定しています。

表彰式

と き 令和8年11月28日(土)10時30分～
と ころ いせ市民活動センター北館1階
※表彰式に参加される方は、写真が伊勢市
ホームページ等に掲載されることがあります。
あらかじめご了承ください。

【主催】伊勢市 【後援】伊勢市教育委員会
【協賛】(株)伊藤園  伊藤園
【助成】(公財)岡田文化財団

【お問合せ先】伊勢市情報戦略局文化政策課
TEL 0596-22-7885
FAX 0596-21-0424



応募について

【部門】 短歌・俳句

各部門1人2作品まで、未発表のものに限ります。

(ほかの大会に応募した作品で応募することはできません。)

◆タブレットやスマートフォンで下記の二次元コードを読みとって応募フォームから申し込んでください。

◆2つの部門に応募するときは部門ごとに入力して下さい。

◆間違っても何度も送信してしまった時は、最後に送信したものを応募作品として採用します。

【応募期間7月1日(水)～8月31日(月)】



短歌用



俳句用

【テーマ(題)】

伊勢の { おいしい食べもの 観光スポット
楽しいイベント 美しい風景 など

※伊勢市をテーマにした作品が審査の対象です。

【表彰】

◆市長賞 各1点
(副賞：図書カード3千円分と伊勢市歴史博物館観覧券2枚)

◆教育長賞 各1点
(副賞：図書カード1千円分と観覧券2枚)

◆伊藤園賞 各1点
(副賞：「お〜いお茶(600ml)」1ケースと観覧券2枚)

◆奨励賞 各5点程度
(副賞：伊勢市歴史博物館グッズと観覧券2枚)
※応募者全員に参加賞があります。

☆受賞の連絡は学校を通じて11月上旬に行います。
☆市長賞受賞作品は、英訳ポスターを作成し、市内観光施設等に掲示するとともに、伊勢市と伊勢市観光協会(予定)のウェブサイトで発信します。

市の花・木・鳥

花

ジングウツツジ

神宮林の中で発見されたことから名づけられました。ミツバツツジの仲間で、三重県、愛知県、静岡県で見られます。5月から6月にかけて、濃いピンク色の花をつけます。



木

オヤネザクラ

国指定史跡・旧豊宮崎文庫に生えている桜。毎年桜のシーズンに公開されています。昭和3年に発表されたヤマザクラの新種です。



鳥

インヒヨドリ

25cmほどの大きさで、鳴き声が美しい鳥。オスとメスでは羽の色が違います。磯や海岸部にいますが、最近は街中でも見られるようになりました。





伊勢のあれこれ

(伊勢に関するキーワード)



おいしい食べもの

伊勢うどん、生姜糖、蓮台寺柿、朝熊のこな小菜、てこね寿司、伊勢たくあん、さめのたれ など



観光スポットなど

二見浦、夫婦岩、桜木地蔵、磯神社、離宮院公園
伊勢河崎商人館、尾崎号堂記念館、神宮徴古館、
山田奉行所記念館、伊勢古市参宮街道資料館、
伊勢市歴史博物館 など

楽しいイベントなど

伊勢神宮奉納全国花火大会、高柳の夜店、河崎天王祭、
伊勢まつり、かんこ踊り、御頭おかしらじんじ神事、伊勢音頭 など



伊勢市の花・木・鳥

ジングウツツジ、オヤネザクラ (市の天然記念物)、
イソヒヨドリ

美しい風景など

五十鈴川、横輪川、勢田川、朝熊山、
宮川、大仏山、音無山、臥竜がりゅうばい梅、横輪桜 など

- ◆短歌は五・七・五・七・七の三十一文字です。
- ◆俳句は五・七・五の十七文字です。
- ◇俳句には季語を入れるのが一般的です。

「季語」とは、春、夏、秋、冬、新年の五つの季節をあらわす言葉です。



Illustration by tupera tupera

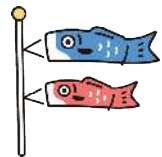
☆季語には次のようなものがあります。(出典：角川書店編「合本 俳句歳時記 第三版」)

〈春の季語〉



梅、うぐいす、桜、たんぽぽ、つくし、ひなまつり、わかめ、かえる、
つばめ、お花見、伊勢まいり、潮干狩り、つつじ など

〈夏の季語〉



花火、こどもの日、かしわもち、たけのこ、御田おたうえ植、ほたる、あじさい、夜店、金魚、
うちわ、かきごおり、かぶとむし、夏休み、ゆかた、海水浴、虹、風鈴、うなぎ、
トマト、花しょうぶ など

〈秋の季語〉



あさがお、すいか、七夕、天の川、つゆくさ、すずむし、とんぼ、なでしこ、梨、
お月見、いね刈り、コスモス、さんま、青みかん、すすき、柿、いちよう、もみじ、
文化の日 など

〈冬の季語〉



こがらし、こたつ、みかん、さざんか、てぶくろ、もちつき、たきび、クリスマス、
おおみそか、除夜の鐘、ゆきだるま、節分 など

〈新年の季語〉



元日、しめ飾り、かがみもち、ししまい、かるた、ふくわらい、はつゆめ、はつもうで、
おとしだま、おぞうに、いせえび など



ものしりコーナー

(俳祖守武翁顕彰会 編集 「荒木田守武」より抜粋)

荒木田 守武【あらきだ もりたけ】

俳句といえばほとんどの方は松尾芭蕉を思い浮かべますが、芭蕉より150年も前に俳諧の連歌はいかい れんがから俳句を独立させた人がいたのをご存知ですか？

五七五、七七と続ける連歌から五七五で俳諧の世界を作り、世界でもっとも短い文学としたのがこの人で「俳祖」といわれます。それを芸術的に高めたのが芭蕉で「俳聖」といわれます。

伊勢市宇治のおかげ横丁の近くで文明5年（1473年）に生まれた守武は、代々神宮の禰宜ねぎをつとめる家柄で、15歳で禰宜となりました。守武は64年間も神宮に奉仕し、晩年の9年間は長官（一の禰宜）という最高位の神主になりました。

守武が53歳の時に一晩で「世中」という言葉をすべて入れた百首の歌を作り、世の人々に人の道はこうあるべきだと教えました。これが「世中百首」といわれるもので、江戸時代には「伊勢論語」として大切にされました。

『世中の親の孝ある人はただ
何につけてもたのもしきかな』

この世の中で親に孝行している人は、すべてにつけて頼もしいものですよ。

（あなたはおやに心配をかけていませんか。親に安心していただくのがまず孝行ですよ。）



さのみ心に世をないとひそ
猶ふかくたづねば山のおくもなし

守武肖像（守武世中百首絵抄所収）

守武が詠んだ俳句
「元日や
神代のことも
思はるる」
の句碑は神宮ばら園に
あります！

出典：伊勢郷土会 発行 「伊勢山田句碑集覧」



荒木田守武は内宮宇治橋前の宇治神社にまつられています。